

学校だより

たむら



平成26年を迎え、新たな気持ちでスタートしました。今年もよろしくお願い申し上げます。

この3学期は、1年間の総まとめ、総仕上げをする学期です。また、次年度の進級・進学に備える学期です。一人ひとりがこの1年間でどう成長したか、次の年度に期待することは何かを見だし、希望や目標を高く持って新たな年度に向かうようリードしていきたいと思えます。

ご家庭におかれましても、この1年がどのような学年であったか、成長や努力したことなどについて話し合っていたいただければと思います。

縄跳び大会に向けてがんばっています！

休み時間になると、子どもたちは元気に縄跳びの練習をしています。また、全校での業間縄跳びも先週から実施しています。上級生が下級生に教えている姿が見られ、うれしく思います。2月5日の縄跳び大会に向け、「自分自身を鍛え抜こう、技を磨こう」という強い思いを持って目標に向かって挑んでほしいと願っています。



“読書のススメ”

～学力調査問題から～

昨年12月に県学力調査が実施され、5年生が国語、算数、社会、理科の問題に取り組みました。問題全体を見て感じたことをお話しします。

最近の問題をみますと、「なぜそうなるのか」ということを言葉で説明したり、多くの情報から必要な情報を選んで解決したり、いくつかの知識を組み合わせる答えを導くといった問題が増加する傾向にあります。そのため、国語以外の教科でも問題文が長くなり、読解力が必要となります。

読解力が乏しいと、文章を早く正確に読み取れない、何を問われているのかわからない、それゆえ、時間が足りないといったことになるのです。

ですから、授業では、思考過程を重視した指導を一層進める必要を感じています。また一方で、低学年の時から、文章に親しみ、文章を読むことへの抵抗感をなくすことがとても重要です。読書をすることによって、育まれるものはたくさんありますが、読解力を

つけるためにも、読書の大切さを改めて感じる場所です。実際、「平成22年度全国学力・学習状況調査」の調査結果によると、読書が好きな児童生徒の方が、小学校でも中学校でも、国語と算数・数学の平均正答率が高いということが示されています。

本校では、朝読書の時間を設定したり、目標冊数を示したりするなどしていますが、ご家庭でも、子どもが読書をする環境づくりを進めていただきますようお願いいたします。

要注意です！ 子どものネット利用

全国的に、中学生の半数近くがスマホか携帯電話を所持し、LINE（ライン）が浸透している現状があります。そして、それに伴い、ラインを介した友達間のトラブルやいじめなどの問題が発生しています。また、ライン等が家庭生活での多くの時間を占める過度な「ネット依存」が大きな問題となっています。そして、これらのことは、小学生にも及んでいます。問題の低年齢化が大変心配されている場所です。

我々大人がもっと意識を高め、知識をもつ必要を感じます。本校でも、2月中に研修会を開催する準備を進めています。また、メディアに依存しない生活確立しようとする「ノーメディアウィーク」の取組も計画中です。その折には、積極的なご参加、ご協力をお願いいたします。

☆雪道の登下校は大変危険です。

指導はしていますが、ご家庭でも通学の安全について十分ご留意ください。

また、通学路の雪かきや見守りをしていただき深く感謝申し上げます。

（文責：小坂 俊夫）

